

世界のオリンピックをもてなしたカトラリーを 新潟県知事に持参します

－燕市のオリ・パラレガシーの取組について報告します－

来たる12月15日、燕市長が新潟県知事を表敬訪問し、東京2020オリンピック・パラリンピック大会から本市へ里帰りした「おもてなしカトラリー」を知事へ寄贈するとともに、オリンピック・パラリンピックレガシーとしての活用について報告します。

【新潟県知事へのおもてなしカトラリー報告会内容】

- 1.日 時 令和3年12月15日（水）13:00～13:20
- 2.会 場 新潟県庁 知事室
- 3.寄贈品 実際に選手村で使われたカトラリー箱入りセット、展示用パネル
- 4.レガシーとしての活用内容※現時点
 - ・学校給食での使用
 - ・つばめアレルギーっ子クラブでの使用
 - ・こども食堂での使用
 - ・障がい福祉サービス事業所での使用
 - ・高齢福祉施設での展示
 - ・山形県南陽市での活用
 - ・オリンピック・パラリンピックと関連の深い施設での活用



【燕を代表する新たな逸品「おもてなしカトラリー」】

燕を代表する新たな逸品として誕生した「おもてなしカトラリー」。「NIPPON」をテーマに、表面にはトキ（学名 *Nipponia nippon*）が真っ直ぐに飛翔する様を、裏面には日本を代表する花・桜を豪華に配置し、着物の奥襟のように見えないところでのおしゃれを楽しむ日本人の粋を表現することで、日本の美意識を真っ直ぐに伝えています。

東京2020オリンピック・パラリンピック大会選手村食堂では、この「おもてなしカトラリー」が使用されました。使い手に配慮したサイズや形状、美しいデザインにより、世界中の選手に対する「おもてなし」とメイドイン燕の魅力発信という役割を果たし、カトラリーは本市へ戻ってきました。今後は様々な場面で活用することで、オリンピック・パラリンピックレガシーを未来へ引き継いでいきます。



本件についてのお問い合わせ先
産業振興部 商工振興課：山崎・永井
電話：0256-77-8232（直通）